

**「第 28 回機械要素技術展」及び「第 26 回関西機械要素技術展」  
和歌山県ブース装飾等業務委託仕様書**

下記のとおり開催される展示商談会「第 28 回機械要素技術展」（以下、「関東展示会」という。）及び「第 26 回関西機械要素技術展」（以下、「関西展示会」という。）での和歌山県ブース出展に伴う装飾を中心とした下記の業務を行う。

記

**1. 展示会について**

＜関東展示会＞

展示会名 第 28 回 機械要素技術展  
開催期間 令和 5 年 6 月 2 1 日（水）～ 6 月 2 3 日（金）  
搬入日：6 月 2 0 日（火）  
開催場所 東京ビッグサイト（東京都江東区有明 3 丁目 11-1）

＜関西展示会＞

展示会名 第 26 回 関西機械要素技術展  
開催期間 令和 5 年 1 0 月 4 日（水）～ 1 0 月 6 日（金）  
搬入日：1 0 月 3 日（火）  
開催場所 インテックス大阪（大阪市住之江区南港北 1 丁目 5-102）

**2. 委託業務内容**

(1) 概要

- ア 和歌山県ブースの装飾デザイン、設営、施工及び撤去
- イ バイヤー向け出展事業者チラシの作成
- ウ その他和歌山県ブースの企画、設営に必要な業務

(2) 詳細

ア 装飾全般【関東展示会・関西展示会共通事項】

- (ア) 出展事業者の製品を効果的にアピールできる装飾とすること。なお、関東展示会と関西展示会は共通のブースイメージとする。
- (イ) 高さ、奥行き等の空間を有効活用した装飾とすること。
- (ウ) 出展事業者が出展物を展示しやすく、かつ商談を行いやすいブース装飾を行うこと。
- (エ) わかやま産業振興財団（以下「財団」という。）が指定するキャッチコピー『技ノ国わかやま』を使用し、和歌山県ブースであることが一目でわかるよう、装飾を行うこと。
- (オ) 『技ノ国わかやま』＝（匠の技、誠実、信頼）というコンセプトに沿ったブースイメージとし、工夫を凝らしたインパクトのあるデザインとすること。また、ブースデザインと各出展事業者のキャッチコピー看板等がリンクするような統一感を持たせること。
- (カ) ブース全体の色味については青色を基調とすること。ただし、システムパネル等については、この限りではない。
- (キ) 財団ブースを県内企業の案内所と位置付けるため、その役割が一目でわかるよう装飾を工夫すること。

## イ ブース装飾

### <関東展示会>

- (ア) 出展規模 5小間 (15m×5.4m)
- (イ) 出展事業者 10社程度 ※3月中旬決定予定
- (ウ) 小間配置
  - ・出展事業者が出展物を展示しやすく、かつ商談を行いやすいブース装飾を行うこと。
  - ・集団出展ブース内に商談スペースを1カ所以上設けること。
  - ・ブース内に最低限の規模の共有ストックヤード及び財団受付スペースを設けること。

### <関西展示会>

- (ア) 出展規模 5小間 (15m×5.4m)
- (イ) 出展事業者 10社程度 ※6月初旬決定予定
- (ウ) 小間配置
  - ・出展事業者が出展物を展示しやすく、かつ商談を行いやすいブース装飾を行うこと。
  - ・集団出展ブース内に商談スペースを1カ所以上設けること。
  - ・ブース内に最低限の規模の共有ストックヤードを設けること。
  - ・財団受付スペースについては、県内事業者のカタログを展示する場所を確保すること。

## ウ 運営管理体制

- (ア) 財団及び出展事業者との連絡調整を行った上で、展示会事務局に対して、備品の配置、設営工事及び許可申請書類等の各種申請書類を提出すること。
- (イ) 設営及び展示会開催期間中に運営管理に係る問合せや不測の事態が生じた場合において、速やかに現場に駆けつけ、対応できる体制であること。

## エ 小間配置及び必要備品

- (ア) 出展事業者が商談をしやすく、かつバイヤーが各出展事業者小間に立ち寄りやすい配置とすること。また、床面は商談に支障をきたさないようフラットにすること。
- (イ) 設置する備品については、別添資料1及び別添資料2を参照することとし、以下に注意した装飾及び備品等を備えた企画にすること。
  - ・出展事業者の占有面積は出展事業者の申込み小間に応じて均等に配分すること。
  - ・照明は、他ブースと比較して沈み込まないよう明るくすること。
  - ・別添資料1及び別添資料2の備品以外で出展事業者が希望する追加什器については、出展事業者の費用負担により設置し、出展事業者から経費の支払いを受けること。また、追加什器を配置した上で、十分な通路を設けること。
- (ウ) 新型コロナウイルス感染症拡大予防対策を講じたブースにすること。なお、具体的な対策として、以下のことを考慮すること。
  - ・商談ブースには、対面時に飛沫を防ぐためのアクリル板やクリアフィルムを設置する。
  - ・3密（密閉・密集・密接）を避けるような装飾・配置とすること。
  - ・一般社団法人日本展示会協会が公表している「展示業界における COVID-19 感染拡大予防ガイドライン」を勧案すること。

オ バイヤー向け出展事業者チラシの作成

- (ア) 和歌山県ブースの出展事業者を紹介するチラシを作成すること。
- (イ) チラシは、和歌山県ブースと統一感のあるデザインにすること。
- (ウ) チラシには以下の内容を記載すること。
  - ・出展者情報（事業者名、取扱商品、商品画像、住所、電話番号、ホームページ、二次元バーコード等）
  - ・和歌山県ブースの小間番号
- (エ) サイズは日本産業規格A4とし、両面4色フルカラー印刷とすること。
- (オ) 関東展示会、関西展示会それぞれ500枚ずつ作成し、関東展示会に関するチラシは5月下旬までに、関西展示会に関するチラシは9月上旬までに財団へ納入すること。
- (カ) チラシのデータ（PDFもしくはWord）は財団に提出すること。
- (キ) チラシ内に「このチラシは、中小企業地域資源活用等促進事業の助成金を活用して作成したものです。」と記載すること。

カ 費用負担

上記エ（イ）に記載する追加什器に関連する費用以外のすべての装飾、備品、電気代、会期中の小間内清掃・ゴミ処理代及び搬入出等を含む経費の支払を行うこと。

キ その他

- (ア) 受託者は、関東展示会においては令和5年4月24日（月）、関西展示会については6月下旬に開催予定の出展事業者説明会で使用する運営等に係る資料を作成するとともに、当該説明会に出席し説明を行うこと。
- (イ) 製作物の著作権（著作権法第27条及び28条に規定する権利を含む。）は、製作物の引渡しをもって財団に譲渡されるものとし、著作権者は、製作物に係る著作者人格権を将来にわたり一切行使しないものとする。なお、財団が製作物のデータの提出を求めた場合は、速やかに提出するものとし、財団は、当該データを自由に再利用できるものとする。
- (ウ) 受託者は、契約締結時に財団に提出した企画提案書にのっとり業務を実施するとともに、事業担当者が必要な協議（報告を含む。）を行い、その指示に従うこと。
- (エ) 契約締結後に生じた事由（参加事業者数の変更、装飾工事の設置基準の変更等）により企画提案書の変更が必要となったときは、受託者は、財団と協議の上、変更後の企画提案書及び見積書を財団に提出すること。
- (オ) 上記（エ）に基づく企画提案書及び見積書が提出されたときは、財団は、その内容を審査し、適当と認められるときは変更契約を締結することとする。